

事業概要シート

施策 0501 健康づくりの推進

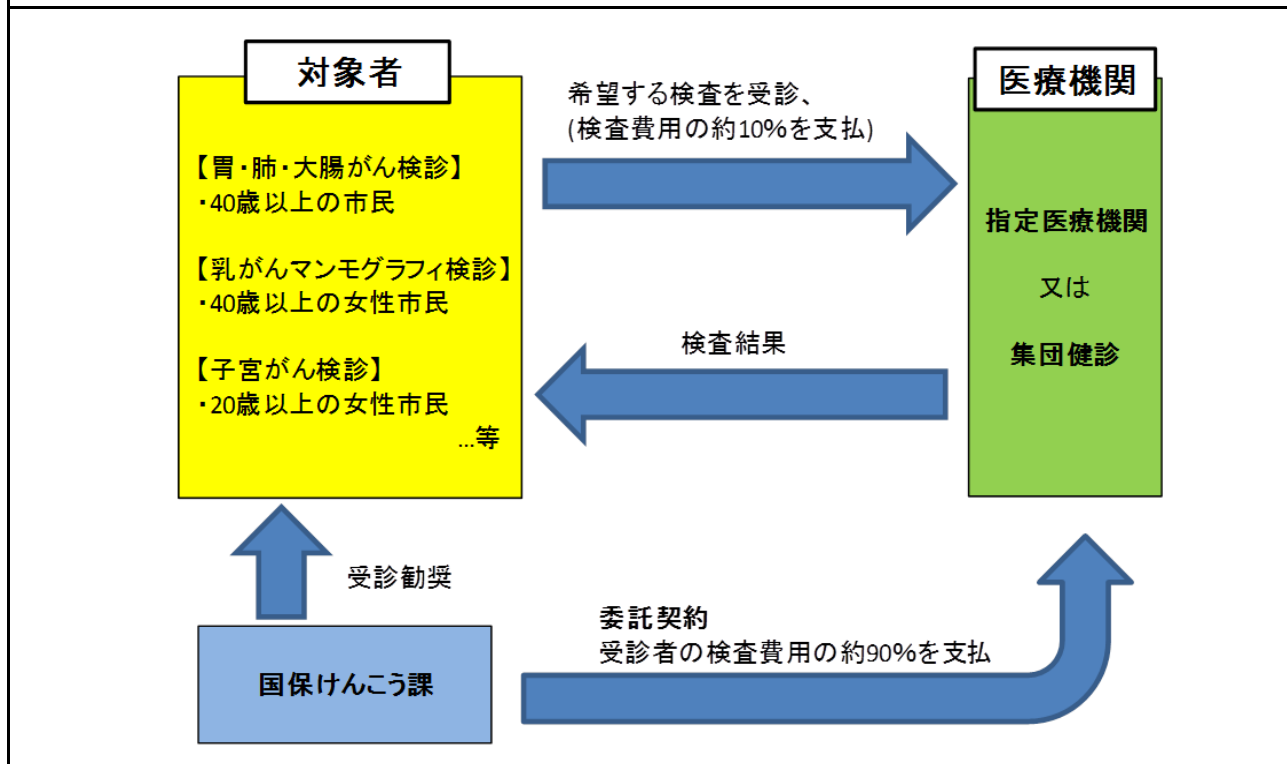
《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	健康診査事業	現状維持	予算額	185,333 千円
				《 200,976 》千円
事業期間	～		財源内訳	国庫支出金 4,410 千円
				県支出金 4,299 千円
根拠法令要綱等	健康増進法、がん対策基本法、高齢者の医療の確保			地方債 千円
				その他 12,814 千円
				一般財源 163,810 千円

【事業の目的・概要・対象】

20歳以上の市民を対象とし、定期的に健康診査を受診してもらうことで、疾病の早期発見と早期治療に努め、市民の健康に関する意識の向上を図る。

各種がん検診、後期高齢者の健診、40歳以上の生活保護者の健診などを、集団健診や医療機関における個別検診によって実施し、検査にかかる費用の助成を行う。



【背景】

日本人の死亡原因約30%を占め、2人に1人が罹るといわれているがんは、早期発見した場合と進行後に発見した場合では、生存率が大きく異なり、早期発見することでほとんどが治ると言われている。早期発見のため、定期的な健康診査の場を設けなければならない。

担当課	福祉保健部国保けんこう課	課長	前川 靖彦
担当者	三原 志穂	問合せ先	0957-53-4111(内線152)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	がん検診受診勧奨	回	3	3	3	3	3
②							

【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	がん検診受診者数 (胃・肺・大腸・子宮・乳がんの合計)	人	21,881	19,685	49,285	49,285	49,285
②	がん検診受診率 (胃・肺・大腸・子宮・乳がん受診率の平均値)	%	27.4	23.9	50.0	50.0	50.0

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	177,913	175,685	200,976	185,333	185,333	185,333	1,110,573
国庫支出金	7,165	11,738	8,156	4,410	4,410	4,410	40,289
県支出金	4,440	4,808	4,719	4,299	4,299	4,299	26,864
地方債							0
その他	13,401	12,909	13,848	12,814	12,814	12,814	78,600
一般財源	152,907	146,230	174,253	163,810	163,810	163,810	964,820
人件費	6,158	5,816	5,816	5,816	5,816	5,816	35,238
職員(人)	0.80人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	4.55人
時間外勤務(h)	170h	181h	181h	181h	181h	181h	1075h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	184,071	181,501	206,792	191,149	191,149	191,149	1,145,811

妥当性 (市の関与)	疾病予防には、定期的な健康診査による病気の早期発見が必要であり、市民の健康を守るための重要な事業である。
有効性 (施策貢献度)	健康診査の普及によって疾病予防が推進され、市民の健康づくりに大きな効果が期待される。
効率性 (コスト)	検診手数料は、診療報酬の規定に基づき設定しており、受診者の自己負担額は手数料の約10%程度としている。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり